

題名	焼きバメ作業時の安全性向上	
何をしている時	焼きバメ装置を使用しての刃具取り付け、取り外し後の冷却中	
<p>どのような危険を感じたか？</p>	<p>現状</p> <p>刃具製作において、曲面加工用刃具を主として拘束力の強い焼きバメ方式を採用しており、右図の作業を行っている</p> <p>問題点</p> <p>冷却において</p> <p>①誰でも刃具を触れる状態にある ②刃具状態(温度)が判らない</p> <p>高熱物の接触により 重点災害に繋がる恐れがある</p>	<p>(略図)</p> <p>【作業方法】 ①ホルダーを焼きバメ②拘束部を加熱し③刃具の取り付け装置にセット  ④冷却  上記場所(作業場内)で冷却を行っている</p>
<p>対策</p>	<p>着眼点</p> <p>◆高熱状態での接触を回避出来ないか</p> <p>対策内容</p> <p>〈第三者保護〉 作業中⇒冷却まで高熱物エリアを分離した</p> <p>〈作業員保護〉 冷却時の温度早見票を作成し接触可能時間の見える化を実施</p>	<p>(略図)</p> <p>第三者保護</p> <p>①作業時の進入防止チェーン設置  ②冷却台車置き場の定位置化、チェーン設置  ③使用後刃具置場にカバーを設置 </p> <p>作業員保護</p> <p>冷却温度推移早見表   早見表により冷却時間を確認、ボードへ記入することで不用意な接触の防止</p>